

資料配布の場所

1. 国土交通記者会
 2. 国土交通省建設専門紙記者会
 3. 国土交通省交通運輸記者会
 4. 筑波研究学園都市記者会
- 令和 7 年 10 月 14 日同時配布



令和 7 年 10 月 14 日
国土技術政策総合研究所

「Activity Based Planning サロン」を開催します！ ～複数の将来シナリオを交通行動データで描き、都市交通計画を支えます～

都市生活者の交通行動シミュレーション技術の普及により、Well-being と持続可能性を両立した都市交通のプランニング（ABP：Activity Based Planning）を各都市で実施できる環境の構築に向けて、国総研研究者と官民の実務者の皆様との交流・体験型のミニサロン「ABP サロン」を開催します。本サロンでは、ABP の考え方と、実践ツールである ABS の基礎知識・活用事例を共有し、データによるシミュレーションの操作体験や現地ワークショップにより ABS の活用可能性を議論し、関心ある皆様の活用検討やコミュニティ形成を促進します。

○開催概要 ※詳細は【別紙】をご覧ください。

対 象：都市・交通計画に携わる地方公共団体職員、民間コンサルタント等

期 間：2025 年 11 月～年度内に計 5 回開催

場 所：（第 1、2 回）都内会場とオンラインでのハイブリッド方式
（第 3～5 回）現地開催を予定 ※詳細は後日案内。開催地募集中。

参 加 費：無料

内 容：

第 1 回「アクティビティ・ベースド・シミュレータ（ABS）の活用事例と今後の展開」

・ ABP 実現への国の取組、ABS の概要や活用シーンを、事例を交え共有します。

第 2 回「アクティビティ・ベースド・シミュレータ ハンズオン」

・ ABS の詳細技術を共有し、データによるシミュレーションの操作を体験します。

第 3～5 回「全国地域巡回ワークショップ」

・ 地域の課題に合わせた ABS の活用について、地域の皆様とともに議論します。

申 込 方 法：【別紙】に掲載の QR コード及び URL から事前申し込みをお願いします。

○開催案内・関連プロジェクト

本サロンは、官民共創プロジェクト「ABP Challenge」の重点アクションⅢとして進めます。

https://www.nilim.go.jp/lab/jcg/committee_2.html

※同時発表：「国土交通省 都市交通調査プラットフォーム」（都市局都市計画調査室）

<https://ptplatform.mlit.go.jp/analysis-tool/>

（問い合わせ先）

国土技術政策総合研究所 都市研究部 都市施設研究室

主任研究官 小笠原 裕光（内線 4515）、研究官 山根 雅也

TEL：029-864-2211 E-mail：ogasawara-h92ta@mlit.go.jp

不確実な時代。
複数の未来をデータで描き、
あなたのまちの選択を支える。

ABPサロン 開催のご案内

参加
無料

これからの都市にはWell-beingや持続可能性が重要です。
生活者の交通行動シミュレーション(シナリオ分析・評価)から進める
バックキャスト型の都市・交通計画手法について、
自治体担当者やコンサルタントの皆様と共有し、一緒に考えます。

2025年11月～年度内 (交流・体験型ミニサロン。気軽にご参加ください。)

〔全5回〕 Activity Based Planning サロン

第1回	都内開催 WEB併用	アクティビティ・ベースド・シミュレータ活用事例と今後の展開
第2回	都内開催 WEB併用	アクティビティ・ベースド・シミュレータハンズオン
第3・4・5回	全国地域巡回ワークショップ	

➡ 詳細は裏面をご覧ください。

▶こんな方におすすめ

- ・ABSの内容や活用事例、計画への活用技術を知りたい方
- ・同じ志を持つ全国の実務者と繋がりをつくりたい方
- ・ABSを実際にPC上で操作し体験したい方

▶主な対象者

- ・地方公共団体職員
- ・都市計画コンサルタント 等

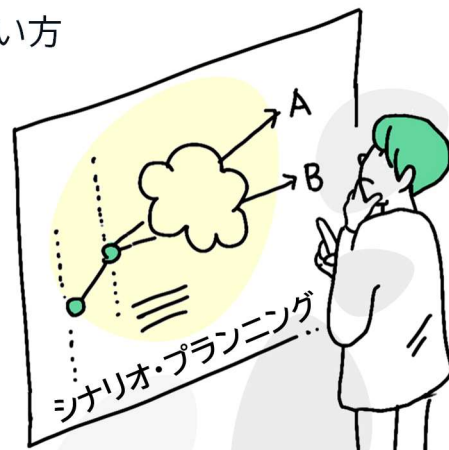
▶主 催



国土技術政策総合研究所
National Institute for Land and Infrastructure Management



一般財団法人
計量計画研究所
The Institute of Behavioral Sciences



人口や社会情勢の変化が激しい中、将来を見通した計画策定はますます難しくなっています。さらに、人々のライフスタイルが多様化したことで、都市交通計画にはWell-being（暮らしの質）や持続可能性といった新たな評価軸が求められています。

国総研では、全国PT調査データを用いて交通行動を推計する全国標準的なアクティビティ・ベースド・シミュレータ（ABS）を開発しています。標準的なABSの普及により、Well-beingと持続可能性を両立した都市交通プランニング（Activity Based Planning：ABP）を各都市で実施できる環境の構築を目指し、実現戦略となる「ABP Challenge」を令和7年4月に公表し、重点アクションに取り組んでいます。

本サロンでは、“個人の活動”に着目する「Activity Based Planning」の考え方や、実践ツールである国総研ABSの基礎知識・活用事例を共有します。データを用い「市民の暮らし」を多面的に捉え、計画目標を議論するための新たな視点を提供します。

官民の皆様のご参加をお待ちしています。

各回の内容と参加申込

申込特典：リアルタイム情報誌「ABPタイムズ」メール配信予定

第1回 アクティビティ・ベースド・シミュレータの活用事例と今後の展開

- ✓ ABP実現への取り組み、ABSの概要をご紹介します。
- ✓ ABSでできることを、事例を交えて共有します。

日時 2025/11/10(月) 15:30～17:00
【現地・Web併用】（受付開始15:00）

場所 TKP東京カンファレンスセンター 新横町ビル2F
カンファレンスルーム2B（東京駅八重洲中央口徒歩1分）

プログラム

ABPの実現に向けた取り組み

ABSの全体概要

ABSを使用したケーススタディ紹介

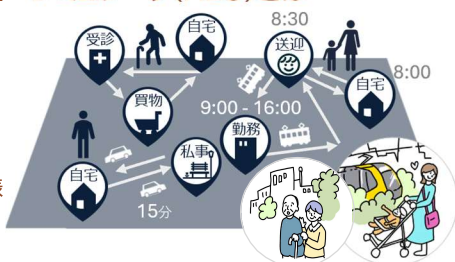
ABSに対する期待① 札幌市

ABSに対する期待② 千葉市

懇親会※ ※名刺交換も兼ねてティーブレイク形式で30分程度。
会費制（おひとり500円）です。ご参加は任意です。

アクティビティ・ベースド・シミュレータ（ABS）とは

- ・個人の1日の活動・移動を確率的に発生させ、集計することで、都市圏全体の流動を表現
- ・外出率や移動時間、トリップパターン等の多様な指標の算出や属性別の分析が可能



申込 参加申込締切：10月31日（金）まで



左記のQRコードまたは
<https://forms.office.com/r/cdyipQ8CxL>
よりお申込みください。

※現地参加申し込みは、定員（30名）を超えた場合、Web参加をご案内させていただく場合があります。

第2回 アクティビティ・ベースド・シミュレータハンズオン

- ✓ ABSの詳細技術を共有します。
- ✓ 実際のデータとシミュレーションの操作を体験します。

日時 2025/11/11(火) 9:30～12:00
【現地・Web併用】（受付開始9:00）

場所 TKP東京カンファレンスセンター 新横町ビル2F
カンファレンスルーム2B（東京駅八重洲中央口徒歩1分）

プログラム

ABSの技術紹介

データ・プログラムの操作・集計方法解説

操作体験（指定したテーマでABSの操作を体験）

活用演習（自由にテーマ設定をしてABSを操作、分析）

活用結果のグループディスカッション

総括

持ち物

- ・データ、シミュレータは事務局から事前に配布します。
- ・以下のスペックを満たすノートPCをご持参ください。
ノートPC無しでもご参加いただけますが、定員を超えた場合、Web参加をご案内させていただく場合があります。
- プロセッサ：
12世代 Intel Core i5-1235U（10コア[2P+8E]／12スレッド）相当
- メモリ（RAM）：8 GB 以上
- システム：64ビットオペレーティングシステム（x64 ベース プロセッサ）
- ・集計やデータ加工にあたりExcel操作が必要になります。

申込 参加申込締切：10月31日（金）まで



左記のQRコードまたは
<https://forms.office.com/r/cdyipQ8CxL>
よりお申込みください。

※現地参加申し込みは、定員（25名）を超えた場合、Web参加をご案内させていただく場合があります。

第3回・第4回・第5回 全国地域巡回ワークショップ

地域の課題に合わせて、ABSをどう活用できるか、どんな活用課題があるか、地域の皆さまと共に議論します。

日時 2025年度内 場所 現地開催 ※詳細は後日案内します。現地開催のフィールドを募集中です。
ご関心のある団体の方は、下記お問い合わせ先までご相談ください。



お問い合わせ先

国土交通省 国土技術政策総合研究所 都市研究部 都市施設研究室 小笠原、山根
（一般財団法人計量計画研究所 IBS 石井、磯野）

お問い合わせフォームURL（QRコードは右記）：<https://forms.office.com/r/CD6JLsgJeb>

お問い合わせフォーム

